



支援金情報大まとめ！ - 博士後期課程で受給できる支援金 - *1

	① 新大博士奨学金	② 学振DC1	③ 学振DC2	④ JST次世代 (SPRING)			
正式名称	新潟大学大学院博士課程 奨学金制度*2	日本学術振興会 特別研究員 DC1*3	日本学術振興会 特別研究員 DC2*3	次世代研究者挑戦的研究プログラム*4 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンランナー育成プロジェクト			
機関	新潟大学	日本学術振興会		科学技術振興機構			
生活費 (年額)	30万円 (一時金)	240万円		210万円			
研究費 (年額)	-	150万円以内		初年次 20万円			
				2年次以降			
				専門深化型	キャリア型	創生型 (クロスAI)	学際研究型
				20万円	20万円	30万円	40万円
期間	一時金	3年	2年	博士後期課程 最大 3年 医歯学系 (4年制) 最大 4年			
対象者	各研究科, 進学者選考の 2月末日までにすべての試験日程を 終了する選考に出願し, 進学した者 (自然研では第三次募集出願者は申請不可)	博士後期課程1年目 など	博士後期課程2年目以上 など	新規採用は、博士後期課程 1年次 医歯学系 (4年制) 1年次*5			
対象分野	全分野	全分野		全分野			
新潟大学 採用予定数/年	20人 (自然研実績 令和5年度 14人、 令和6年度 14人)	若干名 (令和6年度 4人) - 全国 694 人 -	若干名 (令和6年度 1人) - 全国 1091人 -	初年次 29人			
				3人	6人	6人	14人
継続性	毎年	毎年		毎年 (予定)			
申請 締め切り時期	12月頃	5月末		7～8月頃			
所得の扱い	雑所得	給与所得		雑所得			
副収入の制限	学振DC1/2 支援不可	常勤職・常勤職に準ずる職 (月80時間目安) 支援不可		学振DC1/2, 生活費に係る十分な水準 (240万円/年) の給付型の奨学金を得ている学生、 生活費に係る十分な水準 (240万円/年) の安定的な収入を得ている学生、国費留学生 支援不可			
備考	内部進学者のみ 収入制限あり	・奨励金の3割を研究遂行費として非課税にする制度あり ・学振特別研究員は給与所得があり、職歴にも記載できる		◆共通メニュー (初年次 D1) ・キャリアマネジメントセミナー・メンター (ユニット選択) 面談への参加・researchmap登録 ・ジョブ型研究インターン専用システムへの登録 (PhDリクルート室提供コンテンツ参照*6) ・「年度末シンポジウム」参加、発表			
				・規定以上の論文数を投稿 ・学振DC1/2制度への申請 (毎年) ・アカデミックライティングセミナーの参加	・PhDリクルートフォーラムへの参加 ・ジェネリックス科セミナー (全3回) 参加	・YDSCの企画・運営 ・BDA研究センターのセミナー・講習への参加	・学内短期留学制度 (マルチホ) ・マルチホ 成果発表



*1 その他、新潟大学生が受けられる支援金制度の情報はこちら (<https://www.niigata-u.ac.jp/campus/economic/scholarship/>)

*2 新潟大学 新潟大学博士課程奨学金制度 (<https://www.niigata-u.ac.jp/campus/economic/scholarship/graduatestudent/>)

*3 日本学術振興会 特別研究員 申請手続き (https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_sin.html)

*4 令和7年度博士後期課程学生支援事業「新次世代プロジェクト」募集要項 (<https://www.phd.niigata-u.ac.jp/student/fellowship/shinzisedaipj/application-guidelines/>)

*5 令和6年度は限定採用枠 (博士後期課程3年次採用) あり

*6 PhDリクルート室HPはこちら (<https://www.phd.niigata-u.ac.jp/>)